

- ◆企画名 関大生なんでも Q&A
日 程 平成 27 年 4 月 2 日 (木) ~ 4 月 4 日 (土)
場 所 総合学生会館凜風館 1 階 屋外ブース
参加者数 9 名 (ピア・サポータ)
目 的

関西大学に入学したばかりの新生は、誰かに相談したくともその「誰か」を見つけることが困難であると思われる。また、学内にはさまざまな部署があり、それぞれに学生の支援を行っているが、新生はどこに行けばよいのかもわかってはいない。

本事業の目的は、右も左も分からない新生に対して、授業やサークル活動などの大学生活や、日常生活（勉強とバイトの両立など）に対する不安を解消し、また時には適切な部署を紹介することであった。また、本事業を行うことで、間接的にはあるが KU サポーターズの存在を新生に認知してもらうことも狙いとしていた。

内 容

当日の最初のシフト担当のメンバーが、ピアエリア内の備品（椅子、机及びノートパソコン）を凜風館前に移動させ、ブースの開設を行った。またその際、ピア・コミュニティのジャンパーと腕章を着用した。

以後はブースでの待機、加えてプレートを持ちながらキャンパス内の巡回を行い、相談があった場合は適宜対応した。具体的には、第 1 学舎など建物の場所の質問（キャンパスの地図を見せる、実際に案内するなどして対応）や、サークルのブース場所の質問（サークルガイドで調べる、オリエンテーション実行委員会のテントまで誘導するなどして対応）が多かった。最後のシフト担当者がブースの撤収作業を行い、ピアエリア内に備品を戻し、鍵の返却等も行った。メンバーの都合により、開始・終了時刻が各日異なったものの、3 日間に渡ってこの活動を続けた。

効 果

本事業は 67 件の相談を受け、大学生活に不安を抱く新生に対して適切な部署への紹介やピア・サポータの経験を通じた大学生活についてのアドバイスなどを行い、3 日間を通して新生のサポートができたと思われる。もう一つの狙いであった KU サポーターズの周知についても目的を達成できたように思われる。また、多くのメンバーが参加したことで KU サポーターズ内の仲も深まったように感じた。

改 善 点

- ・キャンパス内の巡回を正式に活動の一環として位置づけ、予め巡回時に携帯するプレートを作成しておく。
- ・事前に昨年度の相談内容や実施状況に目を通し、様々なケースへの対応方法を考えておく。
- ・設置や撤収に掛かる時間も考慮し、早めの行動を心掛ける。

感 想

利用者も多く、今回「関大生なんでも Q&A」に対する需要は十分にあったと思われ、事業を行って良かったと思えた。今後もこの活動を継続していきたいと考える。

一方で、この事業を開始してから数年が経っているにもかかわらず、未だに反省点や改善点が数多くあることも問題であると感じる。先述の内容と重複するが、過去の記録に目を通し周到な準備をすることが、今後の KU サポーターズにおいて最も重要なことであると思われる。

今回の活動において良かった点は継続し、反省点は次に生かして、より関大生をサポートできるよう、今後の活動に繋げていきたい。